

「松江市中核市移行基本計画」(案) に対する市民意見募集、 市民向け説明会及び地区説明の実施状況

1. 実施状況

(1) 市民意見募集

【実施期間】平成28年12月20日(火)から平成29年1月23日(月)まで

【意見提出者数】2名

【意見項目数】2件

(2) 市民向け説明会

【開催日時】平成29年1月15日(日) 午後1時30分から午後2時30分まで

【開催場所】市民活動センター 5階 501・502 研修室

【参加者数】3名

(3) 地区説明

【実施期間】平成28年11月21日(月)から平成29年1月27日(金)まで

【開催場所】各公民館等

【参加者数】621名

【実施状況】

No.	地区	開催日時	参加人数
1	城東	11月29日(火) 18:30~19:15	24
2	城北	12月8日(木) 18:30~19:15	25
3	城西	12月6日(火) 18:30~19:15	11
4	川津	1月15日(日) 10:00~11:00	22
5	朝酌	12月2日(金) 16:00~17:00	30
6	法吉	11月30日(水) 14:00~15:00	26
7	生馬	12月7日(水) 18:30~19:00	21
8	持田	12月17日(土) 10:30~11:30	35
9	古江	1月18日(水) 18:30~19:15	23
10	本庄	12月16日(金) 19:00~20:00	13
11	大野	12月19日(月) 19:00~20:00	19
12	秋鹿	11月25日(金) 19:00~20:00	23
13	白潟	1月20日(金) 18:30~19:15	12
14	朝日	11月26日(土) 18:00~19:00	18
15	雑賀	11月25日(金) 18:30~19:30	11

No.	地区	開催日時	参加人数
16	津田	11月27日(日) 10:00~10:45	22
17	古志原	1月22日(日) 10:15~11:15	53
18	竹矢	12月1日(木) 19:00~19:45	31
19	乃木		-
20	忌部	12月11日(日) 11:00~12:00	14
21	大庭	11月21日(月) 19:00~19:45	18
22	鹿島		-
23	島根	12月13日(火) 18:30~19:30	30
24	美保関	11月25日(金) 19:00~20:00	18
25	八雲	12月1日(木) 19:15~20:00	17
26	玉湯	1月17日(火) 19:00~20:00	27
27	宍道	12月5日(月) 19:00~20:00	45
28	八束	1月27日(金) 19:00~19:40	21
29	東出雲		-
	東出雲町 地域協議会	1月11日(水) 15:30~16:30	12
合計			621

2. 質問

【中核市の制度】

No.	質問内容	回答・市の考え	関連ページ	件数
1	・人口が 20 万人を下回るとどうなりますか。	・中核市移行の人口要件は、5 年に 1 度行われる国勢調査の結果で判断されるため、次の国勢調査がある平成 32 年までは松江市は中核市に移行する要件を満たしています。 ・移行までに人口が 20 万を下回ると、中核市に移行することはできません。 ・移行後に人口が 20 万を下回っても、中核市の指定を取り消されることはありません。	3	7
2	・移行を表明していない県庁所在市 2 市や、人口が多くても中核市に移行しない市の理由は何ですか。	・県庁所在市 2 市は検討中又は研究中のことです。 ・人口が多くても中核市に移行しない市としては、普通交付税の交付を受けていない市で、中核市に移行すると、財政面では負担が増えるだけなので、デメリットだと考えている市があるほか、政令指定都市に隣接しているからという立地上の理由、産業廃棄物の不適切保管の課題があるなど、市によってそれぞれ理由があります。	3 58	5
3	・中核市にならなかつたら県から引き継ぐ予定の行政サービスは、松江市の市民は受けることができなくなるのでしょうか。	・市が中核市に移行することで県から引き継ぐ予定の行政サービスは、市が中核市にならない場合、県が引き続き担います。	5	1
4	・中核市に移行した後に、中核市をやめますということはできますか。	・現在の制度ではできません。中核市の指定を取り消す手続は想定されておらず、法律で定められていません。	6	1

【中核市移行の目的（中核市移行により目指す松江市の姿）】

No.	質問内容	回答・市の考え	関連ページ	件数
5	・中核市移行により目指す松江市の姿にある「日本一」は何をもって判断していますか。また、現状はどのようなになっていますか。	・目指す姿に掲げた「日本一」は個別の指標等で検証することを想定したものではなく、日本一を目指す姿勢で積極的に取り組んでいくということを表現したものです。	7	4

【移譲事務】

No.	質問内容	回答・市の考え	関連ページ	件数
6	・中核市移行による移譲事務に産業分野に関するものはありますか。 ・中核市移行による移譲事務にスポーツ分野の事務はありますか。 ・中核市移行による移譲事務に東出雲町にある家畜保健衛生所に関係するものがありますか。 ・中核市に移行することで道路補修の予算が増えたりしませんか。	・中核市移行による移譲事務にスポーツ、産業、農林水産分野に関するものはありません。 ・中核市移行により道路関係の予算が増えるということはありません。	9-11	3

No.	質問内容	回答・市の考え	関連ページ	件数
7	・民生委員の事務局は縣市それぞれにあります。中核市移行後の体制はそのままですか。	・松江市の中核市移行後も、県は県内の他市町村を管轄するため、県の事務局は残りますが、市の民生委員に関することは市の事務局が一括して担当します。なお、民生委員の研修については県と協力して行うことも検討しています。	9-11	1

【中核市移行の効果（メリット）】

No.	質問内容	回答・市の考え	関連ページ	件数
8	・市民にとってのデメリットはありませんか。	・市民の皆様にとってのデメリットはないと考えています。	12-19 42-52	8
9	・中海・宍道湖・大山圏域の中で唯一中核市移行できるということですが、圏域内の他市の行政サービスも行うようになるのですか。また、移行することで「松江市が一番」といった差別化を考えているのですか。	・中核市になることで松江市が新たに担う事務は、松江市域に関する事務です。 ・また、中海・宍道湖・大山圏域では構成市それぞれの強みを生かした圏域全体での発展を目指しています。中核市移行は松江市としての強みを増し、圏域のさらなる発展に貢献しようとするものです。	12-19 42-52	2
10	・中核市移行の効果というのは本当に見込めるものですか。	・すぐに効果が出るものから時間がかかるものまでいろいろなものがありますが、市としてしっかりと事務を行い、効果を実現していきたいと考えています。	12-19 42-52	1
11	・保健所は一旦設置したら辞めるわけにもいかない非常に大きなことで、将来負の遺産にならないか気にしています。先行して中核市になった市の住民の声は把握していますか。	・これまでに中核市に対して行った調査でも、保健所を設置することは中核市のメリットとされています。デメリットと捉えている市はありませんでした。	16-18	1
12	・市職員にとってのデメリットはありませんか。例えば、今は市でダメなら「県で」と言えますが、それができなくなることで逃げ場がなくなりませんか。	・中核市に移行し、市の担う責任がこれまでより重くなることは、デメリットとは考えていません。市の職員の意識及び資質の向上を図る機会が増えるということで、メリットと考えています。	19	1

【保健所の設置方法】

No.	質問内容	回答・市の考え	関連ページ	件数
13	・いきいきプラザ島根3階は共同設置保健所の職員の配置や業務の実施にあたり手狭ということはないですか。	・共同設置保健所では現在の保健所と職員数がほとんど変わらず、事務も現在の保健所と同様の事務を行うので、手狭ということはありません。	20-21	1
14	・共同設置保健所の予算や責任の所在は市と県どちらになり、また、どちらの議会で物事を決めるのですか。	・共同設置保健所に要する経費は市の予算に計上し、市議会で審議されます。また、事務の責任は市長と県知事が、それぞれの権限に応じ、負うこととなります。	20-22	2
15	・共同設置保健所の所長は県と市どちらの職員が務めるのですか。	・中核市移行直後の所長は、県から配置してもらおうと考えています。	20-22	1

No.	質問内容	回答・市の考え	関連ページ	件数
16	<ul style="list-style-type: none"> 保健所の共同設置については、市と県で給与や指揮命令系統など、いろいろなものが違っているのに、うまくいくのでしょうか。 市と県のどちらの事案になるか判断が分かれる場合、責任の押し付け合いになるなど、不都合が生じるのではないのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健所業務を滞りなく行えるよう、県との協議、調整を行っています。 帰属が不明の事務は、代表団体である松江市の事務とすることで、支障が生じないように調整していきます。 	20-22	3
17	<ul style="list-style-type: none"> 保健所は県と共同で行うことですが、将来的には市の単独設置も考えているのですか。 	<ul style="list-style-type: none"> 現時点では、平成30年4月に共同設置での保健所で滞りなく業務を行うための事項に集中し、準備を進めています。 	20-22	1
18	<ul style="list-style-type: none"> 共同設置保健所の配置人員が市15人、県25人で、費用負担の割合が県37.7%、市62.3%ですが、費用負担の数字が逆ではないですか。 	<ul style="list-style-type: none"> 費用負担は市と県それぞれの権限に属する事務量の割合で決めています。市と県の職員の配置割合は、事務量の割合とは連動しません。 	21	1
19	<ul style="list-style-type: none"> 現在、保健所は県本庁と連携した危機管理対応を行っていますが、中核市移行後は市にも県の本庁に相当する機能を担当する部署を設けるのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 県の本庁に相当する機能を担当する部署を、市役所の中に作る計画で準備を進めています。 	21	1

【人材の育成、組織・人員】

No.	質問内容	回答・市の考え	関連ページ	件数
20	<ul style="list-style-type: none"> 人員配置・人材育成を行ううえで配置換えは重要ですが、特にそれが難しい専門職についてはどのように考えていますか。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門職員の固定化によるモチベーションの低下等が生じないように、人事配置、研修、人事交流等の検討を行うこととしています。 	24	2
21	<ul style="list-style-type: none"> 県の仕事を引き継いでやっていくということですが、現在市の職員が余っていて、その職員で対応するのですか、それとも、市の職員を今より増員するのですか。 	<ul style="list-style-type: none"> 市は行政改革による効率化等を行っており、職員が余っているということはありません。中核市の移譲事務を行うための職員を配置するためには、一定の増員が必要であると考えています。 	26	2
22	<ul style="list-style-type: none"> 現在の松江保健所の職員数は合計45人で、中核市移行により必要な保健所の職員は46～47人と1～2人増えるということは、何か新規事業の計画があるのですか。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健所に必要な職員が現在の松江保健所の職員よりも多いのは、移行直後の過渡期の事務量の増加に対応するための加配等を見込んでいるからです。 	26 59	1

【条例の整備】

No.	質問内容	回答・市の考え	関連ページ	件数
23	<ul style="list-style-type: none"> 県から市にいろいろな権限が移譲されることで、市として基準条例も多く制定するということが、県の基準が横滑りするものが多いのですか。それとも市独自の基準が増えるのですか。 	<ul style="list-style-type: none"> 混乱を招くことのないよう、変えないものが多くなると考えていますが、基準を市で定められるようになるということは、市の考えを反映することができるようになるということなので、必要に応じ、変えていくものも出てくると考えています。 	27-29	1

【中核市移行に伴う財政影響】

No.	質問内容	回答・市の考え	関連ページ	件数
24	・普通交付税は毎年のように国が削減するという話があり、算定根拠となる人口も減少が予想されます。制度改正により国、県、中核市の負担割合が変更になる可能性もありますし、将来的には増えた事務の事業費を賄いきれなくなるのではないのでしょうか。	・普通交付税は、国が地方財政計画を立て、地方に必要な額が算定されるものと考えています。仮に普通交付税の算定が足りないというようなことがあれば、中核市市長会等を通じて、国に適切な算定を要望していきます。また、市では毎年5年間の財政見通しを作り、適切な財政運営に取り組んでいます。	32-34	7

【広報等の実施状況】

No.	質問内容	回答・市の考え	関連ページ	件数
25	・中核市移行について今まで知りませんでした。周りの住民も誰一人知らないようです。これまでどのような広報をしていましたか。	・平成26年度から、市報、ケーブルテレビなどで広報を行っています。今後もさまざまな形で、丁寧にわかりやすく説明を行います。	36	2

【検討のための体制】

No.	質問内容	回答・市の考え	関連ページ	件数
26	・県と安来市に関係がある話ということでしたが、話し合い等はスムーズにいらいますか。また、県は市の中核市移行が遅れないように対応してくれそうですか。	・県とは合同の会議を設置し、安来市もオブザーバーとして参加してもらい、検討を行っています。今後も県と協力し、準備を進めていきます。	38	2

【これまでの経過及び今後のスケジュール見込み】

No.	質問内容	回答・市の考え	関連ページ	件数
27	・平成30年4月1日の移行は、人材の確保・育成の観点から、急ぎすぎではないのでしょうか。	・移行目標期日は、中核市に移行した市の準備期間等を参考にしたものであり、松江市も可能な日程であると考えています。円滑な移行ができるよう、準備を行います。	41	2

【その他】

No.	質問内容	回答・市の考え	関連ページ	件数
28	・平成30年4月1日の移行に向け、市民として何かしないといけないことがありますか。	・基本的にはありません。現在、島根県から許可等を受けていらっしゃるものは、その許可等の事務が中核市移行により、松江市に移っても、原則は、次の更新等の時期まで、現在の許可等が有効となります。現在、何らかの手续をお願いするものがないか、個々の事務について、確認作業を進めています。必要なものがあれば、対象者への直接の通知、市報、市ホームページ等への掲載によりお知らせします。	-	2

No.	意見内容	回答内容・市の考え	関連ページ	件数
29	・移行により職員数が増えると思いますが、市役所が狭く、収まらないのではないですか。	・本庁分での必要人役は13名です。この人数をそのまま増員するとしても、収まらないということはないと考えています。	-	1
30	・市の業務が増え、県に行っていた市民が市本庁に行くようになり、10%も20%も利用が増えるということになれば、市の駐車場が手狭になるのではないですか。	・移譲事務の受付件数等を見ると、駐車場に影響があるほどに来庁者が増えることはないと考えています。	-	1
31	・市職員が全体で増員となるということは、県職員は減員となるのですか。 ・県の職員が市の職員に身分移管されるということもあるのですか。	・県の職員数は、県で検討が行われます。 ・県職員の身分移管は想定していません。	-	7
32	・市の中核市移行で県財政には影響があるのですか。	・事務数が減る分、歳入・歳出も減ります。	-	1

3. 意見

【中核市移行の目的（中核市移行により目指す松江市の姿）】

No.	意見内容	回答内容・市の考え	関連ページ	件数
1	・他市が移行するから松江市も移行するというようにしか聞こえませんでした。	・中核市移行は、移行することで県から移譲を受けるさまざまな権限により、市として更なる市民サービスの向上を行うことを最大の目的としています。	7	1
2	・市は他の中核市と同じ力がある、又は同じ力が将来備わると考え、移行を目指しているのでしょうか。街の雰囲気や幅員の大きな道路の敷設状態、県外資本の大型店の進出状況から考えて、人口以上に市に力のある一般市の米子市や出雲市が中核市にふさわしいように思います。	・「都市の能力」には産業、経済、行政など、いろいろなものがあります。中核市制度は、都市の行政能力に関する制度で、人口20万以上の市であれば一定の事務を行う行政能力があると国の審議会で認められたものです。松江市は、中核市に移行することで県から移譲を受けるさまざまな権限により、市として更なる市民サービスの向上ができると考え、中核市への移行を目指しています。	7	1
3	・お店に例えれば、松江市は「中核市」という看板を掛けようとしているということだと思いますが、看板だけではなく、看板にふさわしい「品揃え」を実現してほしいし、特例市ではなく、中核市としてやっていくのだという華々しいPRを行ってほしいです。	・中核市となり市民の皆様に身近なサービスのほとんどを担当することで、更なる住みやすさの向上を実現していきたいと考えています。PRについては、さまざまな方法により効果的に行っていききたいと考えています。	7 36	1

【移譲事務】

No.	意見内容	回答内容・市の考え	関連ページ	件数
4	<p>・近年、かつて市がやっていたようなことが、自治会でやってほしいと言われるようになっていきます。中核市移行により行う業務が増えることで、連動してさらに何か自治会に仕事をしておろしていただくのではないかと心配です。</p>	<p>・地域課題や行政ニーズは多様化、複雑化しており、行政だけでこれらを解決することが困難な状況になってきています。そのため、市民の皆様と共に考え共に実行する「共創・協働のまちづくり」を進めているところです。町内会・自治会の御協力をいただく機会も増えていますが「対話による協働のまちづくり宣言」（平成24年）にもあるとおり、市職員が市民の皆様の中に積極的に出掛け、対話を通じて危機感を共有し、相互理解を得ながら進めていきます。</p>	9-11	2

【中核市移行の効果（メリット）】

No.	意見内容	回答内容・市の考え	関連ページ	件数
5	<p>・中核市移行については市と県という行政機関の権限が変わるだけという印象で、市民にとってのメリットがよくわかりませんでした。</p>	<p>・メリットについては、松江市中核市移行基本計画の中で説明をしています。説明会でいただいた意見を受け、わかりやすくするため、説明を補強しました。</p>	12-19	4
6	<p>・中核市移行のメリットは、保健所以外のことでもっとあるのではないかと、あればいいなと思いました。</p>	<p>・中核市移行後は、まずは現在県がやっている仕事をしっかりと引き継ぐ必要があります。その後、市として業務を行う中で、新たなメリットを実現していくことになると考えています。</p>	12-19	1
7	<p>・中核市に移行することで市が行うようになる事務は、現在も県が市内で行っていることです。2億円もの準備費用をかけてまでわざわざ市が担当することの意義がわかりません。</p>	<p>・中核市に移行し、市がより多くの行政サービスを自らの責任と判断で担うことで、地域の課題を行政サービスに反映させやすくなるなど、多くのメリットが生じると考えています。これらのメリットは、市民の皆様が一番身近な基礎自治体である市が事務を行うことにより実現するものであるため、中核市に移行することには大きな意義があると考えています。</p>	12-19	1
8	<p>・今後の人口減少が心配です。市は人口維持について並行して具体的に取組まないといけないのではないのでしょうか。空き家対策のことも非常に重要だと思います。市民として、人口減少対策や魅力あるまちづくりを期待したいです。</p>	<p>・市では総合戦略を策定し、人口減少対策のための取組を進めています。中核市移行は、行政サービスを向上させていくものであり、総合戦略の基礎にもなるものと考えています。</p>	19	4

No.	意見内容	回答内容・市の考え	関連ページ	件数
9	<ul style="list-style-type: none"> ビジョン3のメリットで「職員の意識の向上」とあるが、職員の意識向上は、中核市になる、ならぬ関係なく行うべきものであり、ここに掲げるものではないのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在も研修等を通じて職員の意識向上を図る取組を行っています。計画の記載は、中核市になると、現在よりも責任の重い仕事を担い、国と直接やり取りしたり、他の中核市と情報交換をしたりする機会が増えることで、職員の資質向上、意識向上を図る機会が増えるということを表したものです。 	19	1
10	<ul style="list-style-type: none"> 中核市移行のことを市の職員にはどう周知し、職員はどう理解していますか。 今でさえ市の職員は人数が少ないのか、行き届かないというか対応してもらえないことがあります。中核市になるだけで日本一にはなれません。職員としてより一層努力しないとイケないという気持ちで職員全員にあればいいですが、ふさわしい行政ができるか心配です。 	<ul style="list-style-type: none"> 全職員への研修等を通じ、中核市の権限を生かし、市民サービスの向上につなげようという意識の醸成を行っています。 	19	2

【島根県への委託等】

No.	意見内容	回答内容・市の考え	関連ページ	件数
11	<ul style="list-style-type: none"> 県費負担教職員の研修を市がやることにはメリットもあるとは思いますが、採用は県であるため、統一的な研修は県で継続してやるべきではないのでしょうか。小中学校教職員は多くが市の学校に所属しますが、そこにとらわれず、県全域はもちろん、日本全体や世界を意識した教育を行っていくべきだと思います。市が研修を行うことで、教職員の意識づけを狭めてしまわないようくれぐれも気をつけていただきたいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員研修のあり方についてはご指摘のようなことを含め県と検討した結果、県費負担教職員の研修については、一部を除き県に委託する計画です。 市ではふるさと教育や特別支援教育など、市としての強みを生かせるものに限定し、独自に実施していく予定です。 	23	1

【その他】

No.	意見内容	回答内容・市の考え	関連ページ	件数
12	<ul style="list-style-type: none"> ・事務処理が早くなるのはいいですが、市も県も市内のいろいろなところに行政機関が離れて存在しており、不便を感じているので、窓口、施設の位置などを何とかしてもらいたいです。 ・中核市になると市の仕事が増え、今以上に市の窓口も増えると思いますが、積極的に一本化等を行う、他市のような立派な庁舎に立て替えるなど市民が利用しやすい市役所づくりに取り組んでいただきたいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口の利便性の向上については、中核市移行することに限らず、検討を行っています。 ・庁舎の建て替えについては、中核市移行の計画とは別に検討を行っています。 	-	3
13	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の要点をまとめた概要版を作ってほしいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画案に対する市民意見募集の実施に併せて概要版を作成し、期間中、各公民館に設置しました。 	-	2
14	<ul style="list-style-type: none"> ・計画はあくまで計画であり、机上のものです。世の中にはやってみてダメだったものが税金で賄われるということもありますが、市としてきちんと準備をして、そういったことが起きないようにしてほしいと思います。後からデメリットがありましたということでは困ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中核市移行を目指す準備作業は平成 26 年度から始め、他市例の研究や県とのやり取りをしてきたところです。計画の中でも特に財政面では県の予算・決算の額を確認し、精度を上げています。今後も継続して取組を進め、しっかりと準備を行っていきます。 	-	1
15	<ul style="list-style-type: none"> ・市民としては、暮らしが苦しい、介護保険料や市税が高いという切実な事情があります。中核市移行は住みやすさ、利便性の向上が目的ということで、移行自体は良いことだと思いますが、くれぐれもそういった市民の心の痛みがわかる市であってほしいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中核市に移行することで介護保険料や税金が上がることはありません。 ・今後とも市民の皆様の立場に立った行政運営に努めていく考えです。 	-	1
16	<ul style="list-style-type: none"> ・良いことなので、できれば早く中核市になってほしいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通り着実に進めていきます。 	-	3

※類似する質問、意見はまとめ、内容を整理して掲載しています。「件数」の欄に類似する意見、質問の件数を記載しています。

※表中の「関連ページ」の欄には、質問、意見の内容に該当する「松江市中核市移行基本計画」のページを示しています。